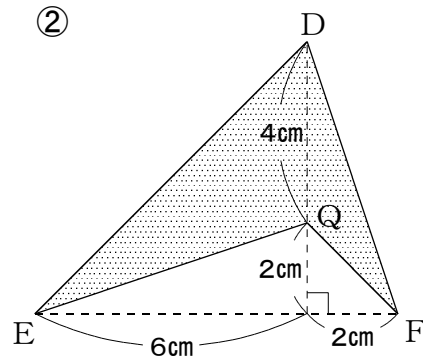
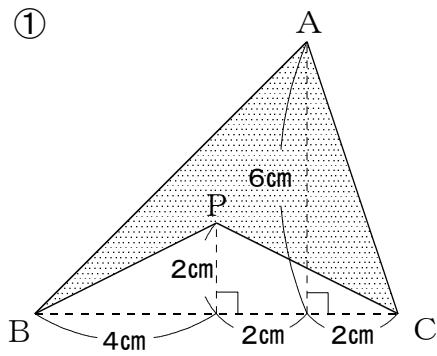


1 右の図形の、およその面積を求めるために、図の中の3点をもとに、直角三角形を作りました。面積が、もっとも近いものを下のア～エから選びましょう。  
(長さをはかってみましょう。)

- ア  $2\text{ cm}^2$
- イ  $5\text{ cm}^2$
- ウ  $10\text{ cm}^2$
- エ  $20\text{ cm}^2$



2 次の図形①の四角形ABPCの面積と、図形②の四角形DEQFの面積では、はどちらが大きいでしょうか。また、その理由も答えましょう。



小5 算数「面積」4 解答・解説

1 【解答】 イ  $5\text{ cm}^2$

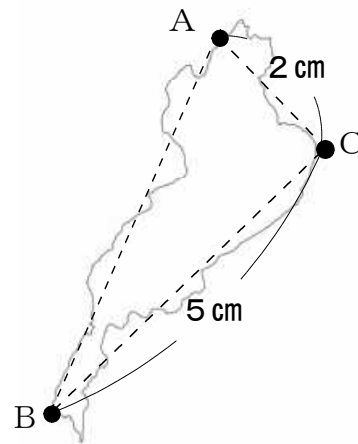
【解説】

3 点を、右の図のように、それぞれ A, B, C とすると、図形の面積は、三角形 ABC の面積とほぼ同じになることが予想できます。

三角形 ABC は、 $BC = 5\text{ cm}$ ,  $AC = 2\text{ cm}$ ,  
角  $C = 90^\circ$  の直角三角形となるので、面積は、

$$5 \times 2 \div 2 = 5 \quad (\text{cm}^2)$$

となります。



2 【解答】 図形①の面積と、図形②の面積は等しい。

(理由)

三角形 ABC と三角形 DEF は、どちらも底辺が  $8\text{ cm}$ 、高さが  $6\text{ cm}$  なので、  
面積は  $8 \times 6 \div 2 = 24 \quad (\text{cm}^2)$

また、三角形 PBC と三角形 QEF、どちらも底辺が  $8\text{ cm}$ 、高さが  $2\text{ cm}$  なので、  
面積は  $8 \times 2 \div 2 = 8 \quad (\text{cm}^2)$

したがって、図形①と図形②の面積はどちらも同じで

$$24 - 8 = 16 \quad (\text{cm}^2)$$

となります。